

<応募申請に当たって>

●申請について

1. 応募申請書類は、日本工業規格A4サイズで様式に従い作成し、以下の方法で環境大臣表彰事務局にご提出ください。

(1) 様式1から2-3までのすべてを、日本工業規格A4サイズで印刷し書類を郵送してください。

(2) (1)と併せて、様式の電子ファイル(Excelファイル)を電子メールにて送付してください。

(3) グラフや図表等はモノクロでも判明できるように作成をお願いします。

(4) 参考資料の添付について

下記の記載事項に注意し、応募申請書類と同封し郵送にて送付してください。

- ・ 応募申請書類への記載を省略し、「別紙参照」として添付資料で代替することは認めません。
- ・ 参考資料の様式はございません。A4サイズ10枚(両面20ページ分)以内に収めてください。
- ・ 冊子、パンフレットなどは該当箇所のみA4サイズにコピーなどをしてお送りください。
- ・ 画像データ(CD-ROM、DVD-ROM等)は受け付けられません。
- ・ 参考資料の電子メールでの添付送付は必要ありません。1セットのみ、ご郵送ください。

2. 郵送書類と電子ファイルの両方ともに、締切は平成30年8月1日(水) <必着>となります。

<書類送付先> 平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰事務局

(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4F

TEL : 03-6273-7785 FAX : 03-5280-8100

<電子ファイル送信先> E-mail : daijin-hyosyo@jccca.org

●記入について

1. 次ページからの留意点等をご確認のうえ、ご記入ください。

(1) 応募申請書類は、Excelファイル内でシート別に、様式1、様式2-1、様式2-2、様式2-3と分けられています。

(2) 様式1、様式2と共通の項目については、様式1を記入すると様式2以降に自動的に反映されるようになっています。

(3) それぞれの様式は必ず各々1ページに納めるようお願いします。

2. その他、ご不明な点がございましたら、上記事務局までお問合せください。

(注1) ①技術開発・製品化部門

①技術開発・製品化部門

- ①技術開発・製品化部門
- ②対策技術先進導入部門
- ③対策活動実践・普及部門
- ④環境教育活動部門
- ⑤国際貢献部門

※左右の部門・個人／団体推薦をそれぞれ選択してください。

局長 殿

様式1 (団体を推薦)

様式1 (団体を推薦)

様式1 (個人を推薦)

平成30年 月 日

記入した日付を入力してください。

※郵送書類、電子メールはいずれも8月1日(水)必着(書類持参の場合も同様)をお願いしております。様々な要因を考慮し、日程に余裕をもって、ご提出ください。

住 所 :

団 体 名 : ※正式名称をご記入ください。

代表者名 :

印

(※ 団体印がない場合は個人印でも可です。自薦の場合であって活動主体が複数の場合、代表となる団体・グループをご記入ください。)

「平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領」
平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領

(注1) 活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。
なお、1つの活動について1部門のみの応募申請となります。
ただし、選考委員会で応募申請された部門よりふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ます。

部 門 名 : 技術開発・製品化部門

活動の名称 : (注2)

(注2) 応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。30字以内程度で端的にご記入ください。
活動とは、実績・研究活動をいいます。
過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組と、同一の活動あるいは功績での応募はできません。判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りください、検討いたします。

(他薦の場合)

環境省地球環境局長 殿

(推薦者の)

住 所 :

個 人 名 :

又は、団 体 名

代表者名 :

印

※他薦の場合の代表者印は、組織の都合に合わせて、お決めください。
例えば、自治体の場合は、基本的には、首長の方の印をお願いします。ただし、例えば、独立した部局内での推薦である場合などは、局長などの印でも構いません。
※企業の場合は、基本的には、代表取締役の印をお願いします。ただし、大きなグループ会社であったり、独立した工場や部署のご応募の場合は、そちらの代表者印でも構いません。

「平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」への推薦について

平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰実施要領に基づき、下記の団体を推薦します。

部 門 名 : 技術開発・製品化部門

団 体 名 :

活動の名称 :

(注)それぞれの様式は必ず1ページ以内に納めるようお願いします。

応募申請用紙

(整理番号: 1 -)

活動の名称			記入年月日	平成30年 月 日
部門名	技術開発・製品化部門		自薦・他薦の別	<input type="radio"/> 自薦 <input checked="" type="radio"/> 他薦
推薦者名		推薦者連絡先	TEL : FAX : E-mail :	
他薦の場合にご記入ください。				
推薦者の推薦理由				
他薦の場合は推薦の理由をご記入ください。また、複数の団体等を推薦する場合、可能な範囲で優先順位を付してください。				
活動主体の概要				
団体名(代表者名)				
住所	様式1と同様にご記入ください。			
TEL		FAX		
インターネット情報	インターネットのウェブサイトやSNSで活動等が紹介されているものがあればURLをご記入ください。			
組織の設立年月日	個人・団体が活動を始めた年月日をご記入ください。			
組織の事業又は活動概要	個人・団体の活動概要をご記入ください。適宜、参考資料等を添付してください。			
表彰の対象となる応募活動の要旨	表彰の対象となる応募活動の要旨を簡潔にご記入ください。			
記載内容に対する問い合わせ先	所属 : 氏名 :	連絡先	TEL : FAX : E-mail :	
これまでの受賞歴	現在までに応募活動に対して表彰されたことがある場合は、表彰主体・内容・時期等をご記入ください。			

(注)それぞれの様式は必ず1ページ以内に納めるようお願いします。

表彰の対象となる応募活動の概要

表彰の対象となる応募活動の目的

表彰の対象となる応募活動の目的をご記入ください。

＜表彰の対象となる応募活動の概要＞

地球温暖化防止の観点から表彰の対象となる応募活動の特色をできるだけ明確にご記入ください。

（特色の例示：波及効果が大きい、大量普及につながる、ベストプラクティスとしての率先的行動の意義が大きい、大きな節電効果を実現した、大量の温室効果ガス削減を実現した等）

特に、他に同様の活動がある場合には相違点を明確にしてください。

③対策活動実践・普及部門及び④環境教育活動部門に関しては、活動実績が概ね5年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であることが望ましいです。

表彰の対象となる応募活動の内容

表彰の対象となる応募活動の内容（普及活動の場合は参加人数、頻度など）等を具体的にご記入ください。応募活動の実施に当たり補助による財政的支援等を受けた場合は、その当該助成団体及び助成額について下欄にご記入ください。また、適宜、参考資料を添付してください。

複数の活動主体による応募活動の場合、それぞれが果たした役割について、活動の内容がわかるようにご記入ください。

※団体等の活動のうち、表彰の対象となる応募活動の内容をご記入ください。

【①技術開発・製品化部門】

日本の最先端の現状に対し、優れた技術の開発によりその製品化を進めたことに関する実績を客観的な視点でご記入ください。

エルツー テック

L2-Tech（先導的低炭素技術）の水準と比較可能な場合は、その「説明書」を付けてください。

【②対策技術先進導入部門】

技術や製品の大量導入・先導的導入に関する実績を客観的な視点でご記入ください。

【③対策活動実践・普及部門】

活動の実践・普及等継続的な取組に関する実績を客観的な視点でご記入ください。

【④環境教育活動部門】

教育活動や普及・啓発等継続的な取組に関する実績を客観的な視点でご記入ください。

【⑤国際貢献部門】

国際的な地球温暖化防止対策活動に関する実績を客観的な視点でご記入ください。

応募活動に対する財政的支援等	助成団体の名称、補助金等の名称	助成額等	自 至 総額	年～ 年 円	(助成等の概要（補助率等含む）)
応募活動の実施期間	自 平成30年 4月 1日 ～ 継続中			(通算期間：3月)	

(整理番号: 1 -)

表彰の対象となる応募活動の自己評価(活動の効果・社会への波及効果・地域への貢献度・活動の継続性…等)

応募活動が地球温暖化防止にどのように貢献するのかを具体的にご記入ください。
また、社会に対してどのような効果が期待でき、あるいは地域にどのように貢献したのか、また、今後の展開で期待される効果等について、自己評価した内容を具体的にご記入ください。

【①技術開発・製品化部門】

- ・この技術の開発によって生み出された製品により、CO₂等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。(例: 従来機器比〇%使用電力削減、CO₂を年間△トﾝ削減)
- ・従来機器比の自己評価については、自社製品にとどまらず、他社製品と比較した数値をご記入ください。
- ・自己評価となる数値は、できるだけ算出根拠をご記入ください。

【②対策技術先進導入部門】

- ・対策技術の先進的な導入によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備をどのように活用してきたか。(例: CO₂排出量〇%削減、CO₂を年間△トﾝ削減)
- ・自己評価となる数値は、できるだけ算出根拠をご記入ください。

【③対策活動実践・普及部門／④環境教育活動部門】

- ・どのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか、今後どのように活動を展開する予定か等、具体的にご記入ください。
- ・社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域に貢献したか。また、その実績はどの程度か。(例: 学校周辺地域の〇〇などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)

【⑤国際貢献部門】

- ・どのような国や地域に対し、どのような人たちと何年間、どのような活動を行い、どのような効果があったか。(例: 〇〇国において、××人に対し、△△を行った。)

※ 生物多様性保全やリサイクル活動が含まれる取組であっても、地球温暖化防止活動の取組が主体であることが分かるようにご記入ください。

表彰の対象となる応募活動の今後の計画

今後どのように持続的に展開していく予定なのかを具体的にご記入ください。

本表彰の公募をお知りになった媒体(複数回答可)に✓をつけ、その具体名をご記入ください。

- ウェブサイト(名称: 環境省報道発表資料) 環境省からの推薦依頼文書
 事務局からのチラシ 事務局からのメール 新聞・雑誌等(名称:)
 その他 ()

参考資料の添付

あり なし

備考

上記のほか、特記事項があればご記入ください。